



**3**  
 2017

<b>主題 (2016/2017)</b>	
<b>国際会長</b>	Our Future Begins Today 「私たちの未来は、今日から始まる。」
<b>アジア会長</b>	Respect Y's Movement 「ワイズ運動を尊重しよう」
<b>西日本区理事</b>	Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit 「ワイズ魂で、更なるワイズの活性化を！」
<b>中西部会長</b>	Think globally, Act locally 「世界をみつめ、地域とあゆむ。」
<b>大阪クラブ会長</b>	Y's Spirit Forever 「ワイズの心は永遠に」

会長	北村 知
直前会長	三北 村
副会長	知 三
	森 嶋 弘
	豊 島 正
書記	利 本
会計	脇 博
ブリテン	清 水 汎
連絡主事	

**【今月の聖句】**

「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富に仕えることはできない。」

マタイによる福音書 第6章24節

**【聖句に寄せて】**

**牟 大盛**

私たちの人生において、常に要求されることは、家族と社会そして自分自身との調和と言えます。愛の時代を生きている私たちは、常に隣人に配慮する心の時代を生きています。

富とは何でしょうか。それは、金銭的な事のみならず、隣人を配慮しない自己主張や主義主張などの独善的な力の論理も含まれるのです。それは、主が一番忌み嫌われる偶像崇拜と言えます。したがって、聖書では常に愛の心を失わずに、そのような富に決して仕えることをたしなめています。

**【3月例会プログラム】 (JWF強調月間)**

於：2月11日なかのしま記念集会

- と き：2017年3月14日 (火)  
           18:15～20:30  
 ところ：土佐堀YMCA 904・5号室  
 会 費：ビジター 1000円
- 司会：清水 民夫  
           北村 知三 会長
1. 開会の鐘
  2. クラブソング
  3. ゲストメネット紹介
  4. 会長報告



- 5. 日々の糧 齊唱・晚餐
  - 6. 講演「介護にまつわるいろいろなお話」 講師：藤井円さん
  - 7. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ
  - 8. インフォメーション
  - 9. YMCAニュース
  - 10. 閉会の鐘 北村 知三 会長
- 受付：藤岡・尾和・崔メネット

### 【第2例会のご案内】

と き：2017年3月21日（火） 19：00～21：00  
と ころ：大阪土佐堀YMCA 702号室  
(変更になることもあります)

### 【巻頭所感】

清水 汎

アメリカのトランプ大統領と安倍総理が、ニューヨーク、フロリダで首脳会談を行いました。アメリカと日本は、100%の同盟であり、運命共同体である様に大統領から演説され、安倍総理もそれに喜んで対応したようです。YMCAもワイズも、アメリカとの関係が深まれば大変喜ばしいことですが、グローバル化している世界には、多くの日本駐在員が存在しており、その人たちの安全をどう守るか難しいところがあると思います。

世界では、アメリカを敵視してテロを仕掛ける国は多くあり、それが日本に向けられる恐れもあります。日本は、軍備、防衛にまだまだ弱く、テロはその弱い日本を狙いうちにする恐れもあります。日本の運命も、今年はそれら試練に耐え日本を新たな強い国に成長するこが、同盟国から求められており、また世界から注目されている処です。

### 【2月第2例会・役員会報告】

日時：2017年2月21日（火） 19：00～20：30  
場所：大阪YMCA 703号室  
出席者：北村会長・脇本真知子・藤岡宏樹・田尻忠邦連絡主事・牟大盛  
協議事項：

- 1) 2月25日（土）の桂吉弥さんのHHファンディング例会の件  
「桂 吉弥さん落語会の件」

日時：2017年2月25日（土） 午後2：00～4：00 土佐堀Y 10F  
主催：大阪ワイズメンズクラブ・大阪YMCA・HHキャンプファンディング  
検討：2月例会の代わりに落語会をあてること、100名参加を目標、会費2千円  
準備について；会場の件、チケット販売の件について協議した。

当日、桂吉弥さんのお誕生日なので、5千円の花束を贈呈する。

—3月14日 クラブ例会（JWF強調月間）の件

—講師；藤井円さん 「介護にまつわるいろいろなお話」 謝礼；1万円

- その他；パンフレット配布 ビジター；西野部長、大村次期部長、清水真一主査
- 4月11日クラブ例会の件
  - 田尻忠邦連絡主事が担当する。（講師選定など）
- 5月9日 特別例会の件；通常例会に変更する。（YMCAのお部屋の確保）

2) 協議事項

- ①4月15日（土）六甲山YMCA設備整備事業「第2回六甲山Yに集まろう！」の件
  - 開始；午前10時 参加費；5千円（内 協賛金1千円）
  - 参加者予定；100名（内 ユース20名無料招待）
  - 2月中に、各クラブにパンフレットを郵送する。

②来期の件について

- 次期会長、次次期会長選出の件；次期会長 牟メン、次々期会長 脇本博メン
- 次期中西部主査候補の件；北村知三メンをメネット主査候補
- 次期クラブ役員の件；書記 北村知三メン 会計 脇本博メン 副会長；協議

③Hリーダー会については、例会毎の手話通訳の確保をもって、推進する件

- HHリーダー会にて検討することを依頼した。
- HHリーダー会の手話講習についても、YMCAと合わせて検討する。

3) ブリテン編集の件；(清水汎ブリテン委員長)

- ブリテン記事担当の事前確定の件；該当月例会報告者などの事前担当者を事前に決める。

4) その他

- HH国際キャンプ；2017年8月1日～8月6日 3月から募集を始める。

**【2月出席状況】**

区分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	12	8 (66.6)	3	90
広義会員	2	0	0	
計	14	8	3	90

★メネット；脇本真知子メネット会長、清水佐智子、北村信子メネット

★中西部・阪和部などワイズ；90名

**【2017年2月例会桂吉弥チャリティ寄席報告】**

北村 知三

2月は、桂吉弥さんのチャリティ寄席をクラブ特別例会としました。

2月25日（土）快晴。110人ほども出席し、桂吉弥さんの人気のほどを知り、当初の不入りの心配も吹き飛びました。午後2時、吉弥さんの一番弟子桂弥太郎さんの「転失気」のお話と、吉弥さんの「風うどん」。休憩をはさんで、再び吉弥さんの「一文笛」。因みに括弧（「 」）付きのお題は、あとで吉弥さんのお父さんにお聞きしたものです。テンポよく現代風の語り口から始まり、次第に本格的な上方落語を熱演、終始笑いのうず。ゲストのみなさんもずいぶん楽しんでもらったものと思います。寄席の終わりに

チケット売上金目録（金額は下記）を客席の前で吉弥さんから頂きましたが、お茶目な吉弥さんは私に手渡そうとして引っ込め、自分のふところに取り込もうとしたりしました。なんとその日は吉弥さんがお誕生日ということをお聞きしておりましたので、サプライズで渡そうとしたバースデーの花束は、落語の始めの方で吉弥さんがネタで明かしてしまい、サプライズにはなりませんでしたが、会長から花束をプレゼントすると、うれしそうに抱えて、会場に巻き起こったハッピーバースデーの歌と一緒に歌いました。昨年11月に、元センテニアルクラブの新保先生からファックスと電話があり、そのときに、「2月25日の2時から4時まで寄席の時間として、10階チャペルの部屋を予約してあります」というお申し出があり、そのことが今回のチャリティ寄席の発端となりました。あとは実行に移し、当日までのチケット売れ行きと、当日の舞台設定司会進行の手はずだけでした。当日までに、ワイズメン、YMCA関係、新保さん関係など、丁度100枚の売れ行きとなりました。当日もチケットが21枚売れ、チケット売上金額¥242,000。（121枚分）となりました。吉弥さん出演料、部屋代、花代、印刷費など差し引いた収益金が基金へ積み立てることができます。

上述のように、新保先生のお声掛けがなければ、吉弥さんのスケジュールも取れずタイミングを逸して、落語会実現が難しかったと思われます。HHリーダー会のメンバーが参加できませんでしたが、われわれの聴覚障がい支援事業への情熱と実行は、これからも継続するものです。吉弥さんには、「来年もよろしくお祈りします」とお伝えしております。

企画準備のYMCA事務局田宮さん、当日までの企画準備実行の田尻さん、当日舞台設定司会進行の藤岡さん、スタッフの林さん、受付役の條さん、清水さんご夫妻、脇本メネット、尾和さん、牟さん、北村メネット、みなさんお忙しいなかありがとうございました。



## 【チャリティーボウリング大会参加報告】

牟 大盛

1月28日、午後5時30分から、桜橋ボウルにて、土佐堀YMCA主催で合計10チーム、1チーム4名登録、参加費一人3500円で開催されました。

例年大阪クラブでは、HHリーダー会を中心に1チームを支援しており、今年も例年通り実施しました。

当日は、大阪クラブの4人枠に、7名が参加しそれぞれが交代でプレーをしました。開催日前日まで参加者が確定していませんでしたが、当日開催のHHリーダー会主催の「寺子屋」の参加者が大挙して参加するようになり、それぞれ交代でプレーをしました。

参加者は、皆顔なじみのHH国際・国内キャンプ参加者の学生たちで、当日ストライクやスペアーが出たら、全員でハイタッチしながら、身振り手振りで楽しいひと時を過ごしました。

今年は、台湾で8月1日に国際HHキャンプがあり、継続してHHリーダー会の協力が必要であります。チーム優勝は逃しましたが、このような交わりを継続して持つことに大きな意義を感じながら、より一層の交流を望むものです。

## 【大阪なかのしまクラブ20周年記念祝会に参加して】

清水 汎

2017年2月11日（祝・土）ホテルグランヴィア大阪にて大阪なかのしまクラブ20周年記念例会が開催され、大阪クラブより6名が参加致しました。全国より164名の参加がありました。

なかのしまクラブは、中西部発の最初の女性みのクラブであり、その団結力、他クラブへの参加、他クラブとの交流等、目覚ましいものがあり、女性の工夫した運営、意見の積極的発言等で模範的クラブ運営をされ、その評価は多くのクラブ表彰に表れています。部会、新年会でもこのような多くの会員の参加は見られない事です。なかのしまクラブも嬉しい悲鳴で、急遽会場を別に用意しなければならない事態となったようです。

第1部では、杉浦会長挨拶、開会点鐘があり、来賓として岩本西日本区理事の挨拶があり、礼拝司会を江見メンがされ、讃美歌、聖書朗読がありました。

第2部は、アトラクションとして中村 澈、中村 健、二人のトーク、ピアノミニコンサートがありました。両氏は親子で、息子さんは6歳で自閉症による発達障害と診断されましたが、大阪音楽大学でピアノ科、作曲科を卒業され、父はドイツのオペラ劇場指揮者を12年間勤められ、親子でピアノの協演をされその素晴らしい音質に感動致しました。このような障害のある方の音楽を招聘され、女性会員の細やかな心使いに感心致しました。

第3部は、祝宴となり生雲、吉田メンの司会で行われ、食前感謝を渡辺メン、乾杯を西野中西部長が行いました。

記念事業として、大阪YMCAインターナショナル15周年に寄付されました。鳥居メン実行委員長の挨拶、杉浦会長の閉会点鐘で閉会となりました。

女性メンの細やかな気使い、おもてなしで参加者全員和気合い合いで楽しい会でした。感謝。

## 【大阪YMCAニュース】

田尻 忠邦

☆「いじめのない世界をめざそう」YMCA ピンクシャツデー2017

昨年に引き続き、全国YMCAと共にピンクシャツデー（PINK SHIRT DAY）2017を実施いたします。

2月22日(水)当日に向けて、YMCA各拠点にて、ピンク色のアイテムを身に着けたり飾ったりすることはいじめ撲滅をアピールしていきます。

世界的な「いじめ」撲滅運動に連なることで、意識的かつ継続的に「いじめ」の問題に取り組み、同時に社会に対して「いじめ」撲滅に対するアピールを行い、地域社会と協働してより広く、推進力のある運動にしていくことを呼びかける機会といたします。

ピンクシャツデー…2017年2月22日(水) ※取り組み期間…2017年1月～3月4日(土)

### ☆第287回 早天祈祷会

日時…2017年3月17日(金)7:30～8:30

証し…大塚 由実さん(大阪YMCA中高齢者事業資格研修センター 事業長)

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

### ☆会員継続のお願い

平素より大阪YMCAの諸活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

大阪YMCAは、1882年の創立以来、青少年教育団体として国際協力、地域奉仕活動をはじめ、社会教育・学校教育などの幅広い活動を通して、青少年の全人的な成長に尽力してまいりました。この130年余の歴史に鑑み、昨今のグローバル社会にあって、私たちは国境を越えた共通の未来に向かって、平和で豊かな社会を実現するために努力を重ね、未来を切り拓くことのできるグローバルリーダーシップ(チェンジメーカー)の育成を、Yボランティア(会員)の皆様とともに果たしていきたいと考えております。

つきましては、ワイズメンの皆様には別紙登録申込書にて継続の手続きと併せて、本年度も活動の登録を行っていただきたく、お手数をお掛けしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

各クラブ連絡主事から又は郵送にて、「Yボランティア(会員)登録申込書」をお渡しいたしますので、ご記入の上、ご返送くださいますよう、よろしくお願い致します。

大阪YMCA Yボランティア(会員)の活動がより活発で有意義なものとなりますよう、2017年度も皆様のご理解・ご支援を何卒よろしくお願い致します。

### 【第2回東西日本区交流会報告】

田尻 忠邦

2月4日(土)、5日(日)、第2回東西日本区交流会が静岡県・御殿場の日本YMCA同盟・東山荘で昨年竣工した新本館をメイン会場に370名のワイズメン、メネットの参加で開催されました。本会は、日本区が東・西日本区に分かれて20年を機に、12年振りに開催された東西日本区交流会でした。大会テーマの「語ろう!未来につなぐワイズスピリット」のもと、旧交を温める場、新しい出会いの場となり、大いに学び、語り、楽しむ時となりました。

プログラムは、4日14時に第一部開会式、講演が、利根川恵子東日本区理事の開会点鐘に続き、田中博之実行委員長の開会の言葉で始まり、日本YMCA同盟総主事島田茂氏、同盟次期総主事の神崎清一氏の挨拶に続き、利根川恵子東日本区理事、岩本悟西日本区理事の挨拶がありました。初日の講演は、

「YMCAのブランディングとワイズ」というテーマで、中道基夫日本YMCA同盟理事がお話しをされました。

第二部は、交流プログラムでIBC・DBC、エクステンション、音楽、ダンス、ウォーキング、メ  
ネットなどの選択肢がありました。私はエクステンション部会に参加して、東京ベイサイドクラブと石  
巻広域クラブのチャーターの経緯についての話を聞いてきました。

第三部は、夕食懇親会が体育館にて立食形式で行われ、第4部は、フェローシップアワーが新本館1  
階の食堂で開催されました。また、同時にDBC交流会も別会場で行われました。二日目2月5日のプ  
ログラムは、日曜礼拝に引き続き第5部講演、DBC、IBC締結式と閉会式が行われました。二日目  
の講演は「ワイズとYMCA、今後への期待」というテーマで、山田公平前アジア・太平洋YMCA 同盟総主  
事が、お話しをされました。「北米では衰退してきているワイズメンズ運動ではあるが、アジア、太平  
洋地域においては、まだまだ勢いがある。その中であっても、日本におけるワイズメンズ運動はYMCA  
とワイズメンズクラブが協働してプロジェクトベースの活動を展開している先駆的なケースであり、そ  
こにはYMCAによる温度差こそあれ、ワイズメンズクラブに寄り添う、総主事、担当主事の存在が大き  
い。」との内容でした。講演後には、被災地レポートとして東日本大震災について石巻広域クラブの清  
水幸一会長が、熊本地震について熊本にしクラブの亀浦正行会長が報告をされました。そして、DBC  
は大阪高槻クラブと千葉クラブが、IBCは大阪泉北クラブと台北A-LIST クラブがブラザークラブの  
調印を交わしました。その後、田中実行委員長の閉会のことば、YMCAの歌の斉唱、岩本悟西日本区理事  
の閉会点鐘で東西日本区交流会の全日程を終了しました。

<報告>

参加者：東日本区 188名、西日本区 171名、台湾区（台北A-LISTクラブ(交流会にて大阪泉北クラブと  
IBC締結)）11名 合計 370名

日曜礼拝献金：177,750円（東日本大震災、熊本  
地震復興支援金として日本YMCA同盟へ）

バザー売り上げ：55,120円、集合写真売り上げ  
35,502円 合計 90,622円（交流会収支の余剰金と  
併せて「東山荘100年募金」へ）



## 【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

早春 に 人の心も 芽吹 き出す	孫娘  春の陽気 で じじが  好き	八十路  すぎ 愚なく 生きたか  鏡見 る	老夫婦  心通 わせ  鬼は外	トランプ  の 声なき メル  修羅 となる	YMCA  の 未来 へなぐ  ユース たち
------------------------------	--------------------------------------	---	--------------------------------	---	---

## 【編集後記】

早春の候ともなり、日本の心を伝える美しい梅花も咲き始めました。

若い人も卒業、入学と人生の岐路に立っています。その人の運命も変わることもあります。人も花もそれぞれ美しく咲いて貰いたいものです。

川柳も皆さん遠慮なしに投稿して下さい

(編集委員：清水 汎)